



すずき ひろし
鈴木 博 議員

人口減少

移住促進、出生率向上を

【答】国や県と連携していく

問 東部・西部地域では人口減少が続いている。町の人口推移をどのように捉えているか。

町長 中央部は5年前に比べ約3%増、特に赤石地区では13%増となっているが、西部地域では約7%、東部地域では約8%人口減少している。人口が減少している地域では高齢化や若者不足による地域活動の停滞、各種産業の担い手不足などが課題である。

問 移住促進・出生率向上の取り組みと現状の課題は。

町長 町では夫婦ともに39歳以下の新婚世帯を対象に新婚新生活支援補助金を支給している。東京圏からの移住者を対象に移住支援金を支給しているが、東京圏以外からの移住希望者に適応できない点が課題と捉えている。出生率向上の取り組みは出産・子育て支援給付金の支給、相談支援体制の充実を図っている。



新生活応援

定住促進

【答】県の支援制度を活用 人材定着の取り組みは

問 県が促進する「いわて産業人材奨学金返還支援制度」の周知状況と認定企業の現状は。

町長 令和5年度65社が認定を受けている

が町内企業で認定を受けた企業はない。町では制度についてホームページで掲載しているほか8月の商工会報にチラシを同封し制度の周知に努め、町内企業

の雇用促進、人材の定着に努めていく。

問 金融教育に関する小中学校の取り組みは。

教育長 小学校家庭科で「売買契約の基礎について触れること」、中学校技術・家庭科で「クレジットなどの三者間契約についても扱うこと」などが行われている。



紫波で暮らそう





ほそかわけいichi
細川恵一 議員



マイナンバーカード

完全移行は性急ではないか

答 適正な運用に努めていく

問 健康保険証が廃止されてマイナンバーカードに一体化されるが、町内の医療機関対応は。

町長 一体化は全国的にも7割ほど進んでおり、情報の確認が容易なことから、過誤請求や事務コストの削減が期待できる。また、町内9割の薬局でマイナンバー保険証での受診ができる。

取得者が資格確認書を発行してもらう体制は不備が発生するのでは。
町長 法改正により、資格確認書に関わる運用方法が見直される。健康保険証の廃止方針については維持しつつ、適正な運用をしていきたい。

有効な対策は

答 法改正が追い風

空家対策



町の空き家バンク物件

問 6月に空家に関する特措法が成立した。基本方針と施策の進捗状況は、どのように把握しているか。

町長 第2期紫波町空家等対策計画を策定し、「空家等の予防と適正管理」「空家等の有効活用」「特定空家等に対する対応」の3つで進めている。第1期計画では空き家バンクの登録件数が22件、管理不全状態の空家の解消が目標5件に対し17件あった。引き続き進捗を把握し、計画を見直しつつ進めていきたい。

道路請願

整備を進めよ

答 優先順位を決め進める

問 議会で採択されたが、数十年前のものがいまだ整備未実施だ。今後どのように進めていくのか。

町長 請願に係る道路整備ととも、改良済路線や橋梁などの整備、更新を、経年劣化を視野に入れながら順次対応しているが限ら

れた財源の中で行っているため、思うように進まないのが現状だ。
問 いつ工事が始まるのかとの声を頂いているが。

町長 請願採択道路については優先順位を決めて効率的に整備を進めていきたい。



ぼっこぼこ！

農業支援

あらゆる手を尽くせ

【答】 できることから取り組む



おいかわ
及川ひとみ 議員



紫波のぶどうおいしいよ

町長 令和5年度の畑地
化促進事業に町内

問 畑地化促進事業の
状況は。

を講じていきたい。
ては町独自で支援措置
30%までの園地につい
の減少見込みが20%、
業対象外となる、収穫

町長 見込みが31%以上の園
地については「岩手県
農作物災害復旧対策
事業」により、県と
町で支援する。県の事

問 果樹の低温被害に
ついて町の支援は。

被害調査報告に基
づき、収穫の減少

識している。対応につ
いてはもう一度組み立
て直す。クマは我々と
一緒に住んでいる感覚
を市街地の人も持って
生活する必要があるの
ではないか。また、ク
マの人的被害は絶対起
きないように対策した
い。

町長 埋設に労力がか
かっているのは認
識している。対応につ
いてはもう一度組み立
て直す。クマは我々と
一緒に住んでいる感覚
を市街地の人も持って
生活する必要があるの
ではないか。また、ク
マの人的被害は絶対起
きないように対策した
い。

ニホンジカの埋設処分
に対して交付金をさら
に活用できないか。

問 鳥獣被害は災害と
言える。市街地で
クマが出没した際の訓
練が必要ではないか。

域で目指すべき将来
の農地利用の姿を共有
する必要がある。

47 ha、18経営体が申請
したが、1次採択で採
用されたのは1.2 ha、1
経営体という状況。高
収益作物への取り組み
が必須と推察している。

子育て支援

費用の負担軽減を

【答】 国や県に要望していく

問 子どもの医療費助
成を完全無償化に
できないか。

町長 現状では困難。国・
県・近隣市町村の
動向を注視しつつ、機
会を捉え国や県に対し
財源確保の要望をして
いく。

問 0歳児・2歳児ま
での保育料を第1
子から無償にできない
か。

町長 町独自の事業とし
て無償化を拡大し
た場合、事業費の規模
が他の子育て支援事業
と並行して実施できる
か慎重に判断する必要
がある。

問 就学援助制度が
あっても利用でき
る家庭は限られる。



給食も教育の一環です

問 誰一人取り残され
ない学びの保障に

教育長 学校の優先課題は老
朽化に伴う学校給
食センターの施設整備
と捉えており、現段階
では一部補助を実施す
る予定はない。

学校給食費の一部補助
に取り組めないか。

向けた不登校対策（C
O C O L O プラン）の
取り組みは。
教育長 教育委員会では従
前からC O C O L
O プランの趣旨と同様
の取り組みを進めてい
る。



議会モニターとの意見交換会

令和5年8月24日 午後6時30分～8時00分 役場会議室



委員長あいさつ

私も数か月前まで議会モニターであった。ここにお集まりのモニターの皆様は町や地域に対して何かしらの気持ちや思いがあると思う。この議会がどうしたらさらに良くなるかというところを重点的に意見交換いただければと思う。 広報公聴常任委員長 鈴木 博



議会中に居眠りしないように努めてほしい。

おやまだ みちよ
小山田 美千代さん



新人だからできることがあると思う。新人なりの質問をどんどん出してほしい。大きな間違いさえしなければ間違ってたっていいと思う。堂々と自信を持ってやってほしい。

前回の議員選挙も同様だったが無投票かと思ったら選挙することになった。無投票で競争しないで当選されるよりは、どういう思いで立候補したのか聞きたいので選挙運動はしてほしい。今後は政務活動費の監視もしていく。

おがさわら えつこ
小笠原 悦子さん



新人議員もそれぞれ志を持っていると思う。会派に入ることによって自分の志がどの程度通るものなのか。先輩議員の顔色を伺う状況はあるか。新人の方に期待することは粗削りでも何でも新人が入って新しい風を吹き込むこと、それから既成のものに捉われないで行動することがすごく大事だと思う。令和の時代に即した議会をつくる時期だと思う。謙虚に学びながらかつ自信を持って進んでほしい。次の議会が楽しみだ。次の選挙のときは若い人がどんどん出てくるような活動を4年間でしてほしい。

やまぐち むつみ
山口 睦美さん



一般質問は、自分の信条とか問題意識として持っていることを町に出て活動して実態を調べて、一般質問の形として出てくるのか。一般質問は、身近なものなので、興味を持ってその日にちに合わせていくわけだが、一問一答で終わってしまい、それがどのような形になって表れていくか経過がない。聞いてると、だんだん、つまらないと思ってしまう。その他の議案審議（委員会）とかは、いろいろと意見が出るのか。淡々と提案されたものが、すーっと通っているのか。

あべ えいこ
阿部 榮子さん



議員になったのなら、自分が公約を掲げたものは必ず言うこと。議会で間違ってもいいと思う。選挙運動は、告示から投票日まで5日間だが、実は4年間で次の告示までの選挙運動だと思っている。有権者の皆さんはこの人何やってんだろうなと見ている。もっと、これから議員がどんどん話して興味を持って立候補してくれればいいのと思う。18人の定数で30人くらい出れば、面白いことになる。私だったら5,000円の政務活動費で活動しろと言われてたらない。あとは自分から持ち出ししないといけないうのはおかしい。議員さんたちでどうやって変えられるか考えてほしい。

ほうじょう きょう
北條 京さん

※意見は一部抜粋して掲載します。

